



平成20年湯河原町成人のつどい

社会教育課 内線832

【日 時】1月13日(日) 受付開始10:20・式典11:00～

【会 場】湯河原観光会館

【内 容】式典・写真撮影・記念のつどい

※当日は、案内状を必ずお持ちください。

なお、駐車スペースがありませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。



二十歳を迎えて

湯河原町成人のつどい実行委員会 内藤 春 菜

私もようやく成人式を迎えることになり、大人としての責任ある一歩を踏み出すこととなりました。

少し前までは、二十歳と言えば自立していると思うことができるようになっていたのですが、実際に二十歳になって変わったことは、飲酒・喫煙が認められ、選挙権が得られたということで、日常生活に大きな変化があったわけではありません。ですが、何はともあれ、私も大人として、また社会の一員として責任ある存在になりました。これからはさらに、社会や政治に目を向け、私たち一人ひとりがこれからの社会を創りあげていくのだと考えなければなりません。「社会を創る」とは、とても大変なことで、難しいことだと思います。しかし、今、私たちが生活している場所、学校や会社そして家庭といった小さなコミュニティーの一つひとつが「社会」をつくっているのですから、その中で私たち一人ひとりが力を出し合い、楽しいと思える小さなコミュニティーを創っていくことが大切なのだと思えます。

私は高校を卒業し、専門学校に進学しました。これまでは、あまり自分の行動に責任を持つということ深く考えたことがありませんでした。しかし、春には卒業を控え、就職を真剣に考え始めてからは、自分の行動に責任を持つことの大変さを強く感じるようになりました。

内定が決まった今、私は研修生として日々多くのことを学んでいるところです。その中で小さな失敗と成功を繰り返しています。初心を忘れず成長し「人材」ではなく「人財」となれるように頑張っていこうと思えます。また、それが今の私にできる社会につながる一歩だと思えます。

これまでの二十年間の多くの出逢いで学んだこと、それらの一つひとつが今の私をつくっているのだと感じています。様々なことを教えていただいた先生方、気の置けない友だち、地域の方々、そしていつも側に居てくれる家族、ここまで成長できたのは皆様のおかげです。本当にありがとうございます。

そして今、大人の世界へのスタートを切った私たちをこれからもあたたかく見守っててください。

今までの自分、これからの自分

湯河原町成人のつどい実行委員会 和田 拓 也

私は、昨年九月で二十歳になりました。思えば、この二十年間様々なことがありましたが、その中で特に印象に残っていることは二回の海外留学です。一回目は中学三年の時に湯河原町の交換留学で二週間オーストラリアにホームステイし、二回目は高校二年の時に語学研修で三ヶ月間、同じくオーストラリアにホームステイしました。そこでは、楽しい思い出はもちろんですが辛い思い出もありました。

やはり、一番の問題は言葉の壁でした。互いに意思の疎通がうまく出来ずに涙したこともありました。そんな時に支えになったのは友だちの存在でした。ホームステイ先の子どもと合わずに悩んでいたときに、一緒にオーストラリアに行った学校の友だちはもちろん、湯河原にいる友だちにも相談しました。その友だちの支えもあり、実りある語学研修ができました。その時に改めて友だちの大切さを知りました。この経験を通して感じたことは、たとえ言葉が通じなくても伝えたい思いは伝えられるということでした。

今、私は介護福祉士を目指して勉強しています。福祉にはノンバーバルコミュニケーションというものがあり、言語ではなくボディランゲージなどで伝えたいことを伝える方法です。私が勉強している福祉とは人とのつながりが大切な仕事です。これまで築いてきた人とのつながりを大事にしながら自分の目標に向けて頑張っていきたいと思えます。

今は湯河原を離れて住んでいますが、私は湯河原町で生まれ育ち、何物にも代えがたい日々を過ごせたことをとても誇りに思っています。今ここに「私」という人間が存在しているのは、これまで私に関わってくれたすべての人たちのおかげです。家族・親戚・先生・地域の人々・先輩・後輩、そして、すばらしい友人たち、数え出したら切りがありません。この中のたった一人でも欠けていたら、今の自分はありません。迷惑をかけたことも多々ありましたが、それでもこんな私を見捨てずに叱咤激励をしてくれた人々に感謝の気持ちでいっぱいです。

人は一人では生きていけない生き物だと強く感じています。この先の人生もたくさんの人とのつながりを大事にして生きていきたいと思っています。これからもよろしくお願ひいたします。